

安全データシート

作成: **ボーソー油脂株式会社**
整理番号: A-O O 1
作成日: 2019 年 02 月 15 日
改定日: 2025 年 09 月 03 日
版 数: 第 4 版

1. 化学品及び会社情報

製品名：ヒカリオSB

会社名：光が丘興産株式会社

住所：東京都練馬区高松 5-8-20 J. CITY18 階

担当部門：商事部第四グループ

電話番号：03-5372-4614

FAX番号：03-5393-6561

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分に該当しない	
	自然発火性液体	: 区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	: 区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない	
	急性毒性(経皮)	: 分類できない	
	急性毒性(吸入：気体)	: 分類できない	
	急性毒性(吸入：蒸気)	: 分類できない	
	急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	: 分類できない	
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない	
	呼吸器感作性	: 分類できない	
	皮膚感作性	: 分類できない	
	生殖細胞変異原性	: 分類できない	
	発がん性	: 分類できない	
	生殖毒性	: 分類できない	
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない	
	誤えん有害性	: 分類できない	
	環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分外
		水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示	: 該当なし
注意喚起語	: 該当なし
危険有害性情報	: 該当なし

注意書き

[安全対策]

取り扱い後は付着箇所を良く洗うこと。必要に応じて保護具を使用すること。

[保管]

密閉して直射日光、高温になるところを避け換気のよい場所に保管すること。

[応急措置]

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼でよく洗うこと。皮膚に異常が生じた場合は医師の処置を受けること。

眼に入った場合 : 清浄な水で十分に眼を良く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。異常がある場合は医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄させ、必要に応じ医師の手当てを受けること。

[廃棄]

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: 非公開
成分及び含有量	: 非公開
化学式または構造式	: 非公開
官報公示整理番号（化審法、安衛法）	: 非公開
CAS No	: 非公開（すべての含有成分に登録あり）
安衛法通知対象物質	: 該当なし
毒劇物法対象物質	: 含有しない
PRT R法対象物質	: 該当なし

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	: 多量の水及び石鹼でよく洗浄する。加熱した製品で火傷をした場合よく冷やし適切に処置する。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な水で十分に洗眼後、専門医の手当を受ける。 コンタクトレンズは可能であれば取り外して洗浄する。
飲み込んだ場合	: 水で口をすすぐ。専門医の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	: 水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特有の危険有害性	: 燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する。 消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護	: 必ず保護具を着用する。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 漏洩時の処理を行う場合には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、長靴などを着

用する。温度が高い場合は皮膚付着による火傷に注意する。

関係者以外は安全な場所に退避させる。

環境に対する注意事項：多量に河川、下水道等に排出されないよう注意する。

漏洩物を直接下水や海、河川などに排出しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

〔少量の場合〕 吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエスなどでよくふき取る。

〔多量の場合〕 流出拡大防止のため土砂、土嚢、その他不燃材で囲い適切な容器などで回収し、専門の処理業者に処理をさせる。

二次災害の防止策：高温、火花を発生させないよう安全な器具を使用し保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：緊急時に洗顔や体の洗浄を行う設備を設けることが望ましい。
火気を近づけないようにする。

局所排気・全体換気：必要に応じて換気を行う。

注意事項：火気注意。

安全取扱注意事項：取り扱い時は火気、火花、スパークの発生させるものまたは高温点火源を使用しない。加熱しすぎると発火するため注意する。
引火の可能性があるためみだりに加熱し蒸気を発生させないようにする
保護眼鏡、保護手袋の着用を着用することが望ましい。
取り扱い後は手や身体に付着した部分をよく洗浄する。

保管：

技術的対策：容器は密閉し火気、火花、スパークの発生させるものは遠ざける。
酸化剤と同一に保管することは避ける。危険物を貯蔵する基準に適した場所に保管する。

適切な保管条件：冷暗所に保管する。なお、消防法で貯蔵・取扱量に関して指定数量が定められているので注意する。

安全な容器・包装材料：製品の使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：取り扱い場所の近くには、目の洗浄、身体の洗浄ができる設備を設置することが望ましい。

許容濃度

日本産業衛生学会（2022 年度版）：設定されていない。

ACGIH（2022 年度版）：設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具：必要に応じて着用。

手の保護具：保護手袋（ゴム手袋など）

目の保護具：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護長靴（耐油性安全靴）、作業衣（長袖、長ズボン）

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体（20℃）

色：淡黄色

臭い：わずかな油脂臭

融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 321℃ (クリーブランド開放式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に対する溶解度 (不溶 (乳化)) 溶媒に対する溶解度 (エチルアルコールに溶解)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
比重	: 0.912 (25℃)
粘度	: 65. 5mPa・s (25℃)

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の取り扱い条件 (常温) において安定。 光や熱、空気中の酸素によって酸化、暗所低温での保管が望ましい。
危険有害反応可能性	: 危険有害反応はないが、アルカリ性物質等の接触により加水分解を起こす。
避けるべき条件	: 布にしみこませたり、熱源や日光などに長時間放置すると蓄熱して発火する可能性がある。
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: データなし
その他	
自己反応性	: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 混合物急性毒性推定値 ATE _{mix} が >5000mg/kg と見込まれるため、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入: 気体)	: データなし
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: データなし
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし (IARC, ACHIH, NTP, EPAにリストされていない)

生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 報告なし
残留性・分解性	: 生分解度 77% (OECD テストガイドライン 301F 法)
生態蓄積性	: 報告なし
魚毒性	: 96 時間半数致死負荷率 (96hrLL ₅₀) > 100mg/L
土壌中の移動性	: 報告なし
オゾン層への有害性	: 含有成分はモントリオール議定書の付属書にリストアップされていない。
その他	: 水域へ流出した場合油膜を作るため、これにより環境に悪影響を及ぼす恐れがある。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合は関係法規・法令を遵守する。廃棄する場合は産業廃棄物の処処理業者などに適正な処理をするように依頼する。
容器	: 空容器を廃棄する場合は、内容物を十分に除去した後に産業廃棄物の処処理業者などに適正な処理をするように依頼する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号/国連分類	: 該当しない
国内規制	
陸上規制情報	: 道路交通法、消防法、労働安全衛生法に定められている運搬方法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に定められている方法に従う。
航空規制情報	: 航空法に定められている方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 直射日光に当たった状態や高温での輸送を避ける。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み荷崩れ防止を確実に 行う。

1 5. 適用法令

国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒劇及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非危険物 (指定可燃物 可燃性液体類に該当)
化審法	: 特定化学物質・監視化学物質・優先評価化学物質に該当しない。
船舶安全法	: 危険物として規制されていない。
航空法	: 危険物として規制されていない。
高圧ガス保安法	: 非該当

16. その他の情報（引用文献等）

引用・参考文献 GHS 分類結果データベース （独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

JIS Z7253

JIS Z7252

原料の安全データシート

- ・ 各種法令において安全データシートの提供義務のある化学物質を含んでおらず、本来発行義務はありませんが、任意で作成したものです。
- ・ この安全データシートは入手可能な文献及びデータに基づき作成しています。
- ・ 基本的な取扱いについて記述した文書で、安全性の保証を意図した物ではありません。実際の取扱い等においては、記載情報を参考にし、十分注意の上お取り扱い下さい。